

イーサネット I / F 1 x x E N シリーズ

D A M - 1 0 2 E N
R L Y - 1 1 6 E N

— I / F 説明書 —

エムシーアイエンジニアリング株式会社
〒182-0024 東京都調布市布田 1 - 4 4 - 3
TEL 0424-87-9564 FAX 0424-82-9138

第 1 . 0 版 2004年03月31日

目次

【 】ご使用の前に		
[- 1] I / F 機能の紹介	_____	2
【 】IPアドレスの設定方法		
[- 1] DHCPによる設定	_____	2
[- 2] arp、telnetによる手動IP設定	_____	2
[- 3] ブラウザを使用する手動IP設定	_____	4
[- 4] ブラウザを使用するポートの設定	_____	4
【 】仮想COMポートの作成		
[- 1] リダイレクタ「red32bit.exe」のインストール	_____	5
[- 2] 仮想COMポートの作成	_____	5

【 】ご使用の前に

本説明書は、「DAM-102EN」、「RLY-116EN」を使用するにあたり、LANに参加させるために必要な設定について説明しています。
本書では「DAM-102EN」や「RLY-116EN」を指す場合、「端末器」または「本機」と記述してあります。
「DAM-102EN」、「RLY-116EN」のハードの性能や取扱方法については「取扱説明書」を、ソフト的なコマンドの使用方法については「コマンド説明書」をご参照ください。

[- 1] I/F機能の紹介

本機はホストパソコンとのインターフェースにイーサネットを使用してコマンドやデータの送受を行います。本機のイーサネットI/F部と本機の処理部とはシリアル通信により接続されています。ホストパソコンはイーサネットを介して本機の処理部とシリアル通信によりデータの送受などを行う事になります。

イーサネット上において各機器はIPアドレスを持っています。このIPアドレスは機器が所属するシステム内で重複しないように設定されなければなりません。本機をイーサネットで構築されたネットワークに参加させるには他の機器と重複しないIPアドレスを設定する必要があります。その後、本機に対して制御コマンドやデータの送受を行うためにはホストコンピュータに本機との通信を行う「仮想COMポート」を作成する必要があります。

なお、本機のイーサネットI/F部には「LANTRONIX社」の「XPort™」を使用しています。LANTRONIX社のホームページは <http://www.lantronix.com/> です。

【 】IPアドレスの設定方法

[- 1] DHCPによる設定

本機の出荷設定では、DHCPサーバからIPアドレスやサブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを自動取得するようになっています。DHCPサーバの存在するネットワークに接続すると本機のIPアドレスが自動的に設定されます。(通常は自動設定されたアドレスはDHCPサーバに表示されます。)

[- 2] arp、telnet による手動IP設定

DHCPサーバが無い場合、Telnet接続によってIPアドレスを設定します。以下、Windows の場合の手順を示します。

- 1: 割り当てるIPアドレスを決めます。
本機を接続するネットワーク上、重複しないアドレスを使用します。
- 2: 本機のイーサネットI/F部のMACアドレスを確認します。
本機のMACアドレスは本機の背面に明示してあります。
- 3: arpコマンドを使ってIPアドレスの仮設定を行います。
>arp -s xxx.xxx.xxx.xxx mm-mm-mm-mm-mm-mm
- 4: telnetコマンドで仮アクセスします。
>telnet xxx.xxx.xxx.xxx 1
この仮アクセスは接続失敗になりますが必要な作業です。

```
C:\>arp -s 192.168.16.20 00-20-4A-80-55-CF
C:\>telnet 192.168.16.20 1
接続中: 192.168.16.20...ホストへ接続できませんでした ポート番号 1 : 接続に失敗しました
C:\>telnet 192.168.16.20 9999
```

- 5 : telnetコマンドで再度アクセスします。
>telnet xxx.xxx.xxx.xxx 9999
この接続は成功し、メッセージが表示されます。

```
コマンドプロンプト - telnet 192.168.16
MAC address 0020448055CF
Software version 01.3 (030612) XPTC

Press Enter to go into Setup Mode
```

- 6 : Enter を入力すると設定メニューが表示されます。

```
コマンドプロンプト - telnet 192.168.16
Message :
Priority: L
Min. notification interval: 1 s
Re-notification interval : 0 s

Change Setup:
 0 Server configuration
 1 Channel 1 configuration
 3 E-mail settings
 5 Expert settings
 6 Security
 7 Factory defaults
 8 Exit without save
 9 Save and exit          Your choice ? 0

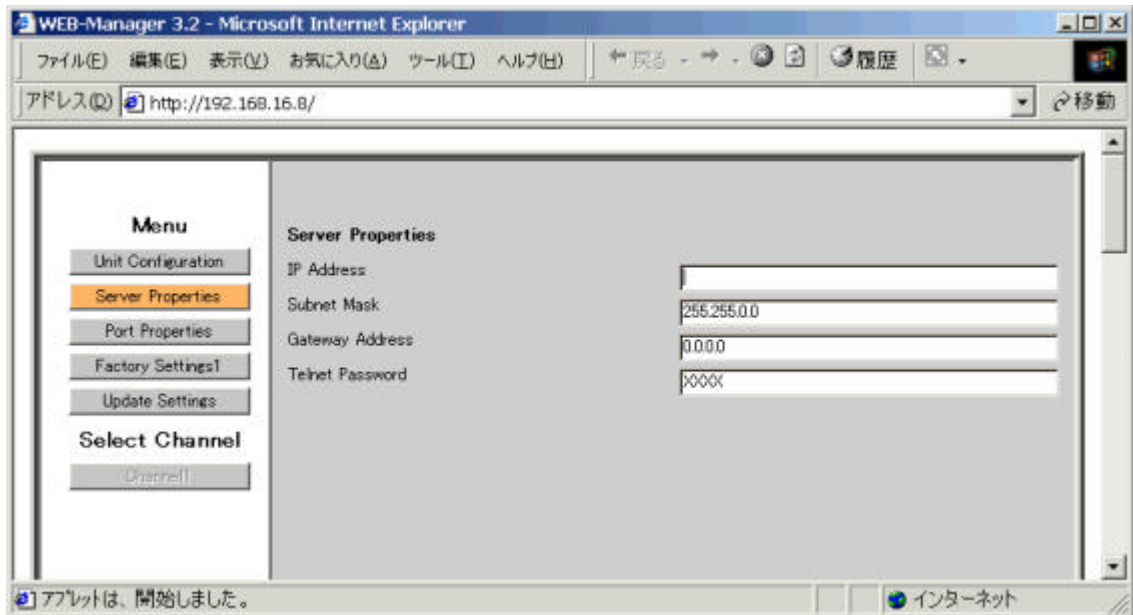
[IP Address : (000) 192.(000) 168.(000) 16.(000) 20
Set Gateway IP Address (N) N
Netmask: Number of Bits for Host Part (0=default) (16)
Change telnet confis password (N) N

Change Setup:
 0 Server configuration
 1 Channel 1 configuration
 3 E-mail settings
 5 Expert settings
 6 Security
 7 Factory defaults
 8 Exit without save
 9 Save and exit          Your choice ?
```

- 7 : Change Setup メニューの中から 0 Sever configuration を選択します。
ここでIPアドレスを再度設定します。
デフォルトのままが良い部分は Enter 押下により進行させます。
- 8 : 再度、Change Setup メニューが表示されたら 9 Save and exit を選択して終了となります。

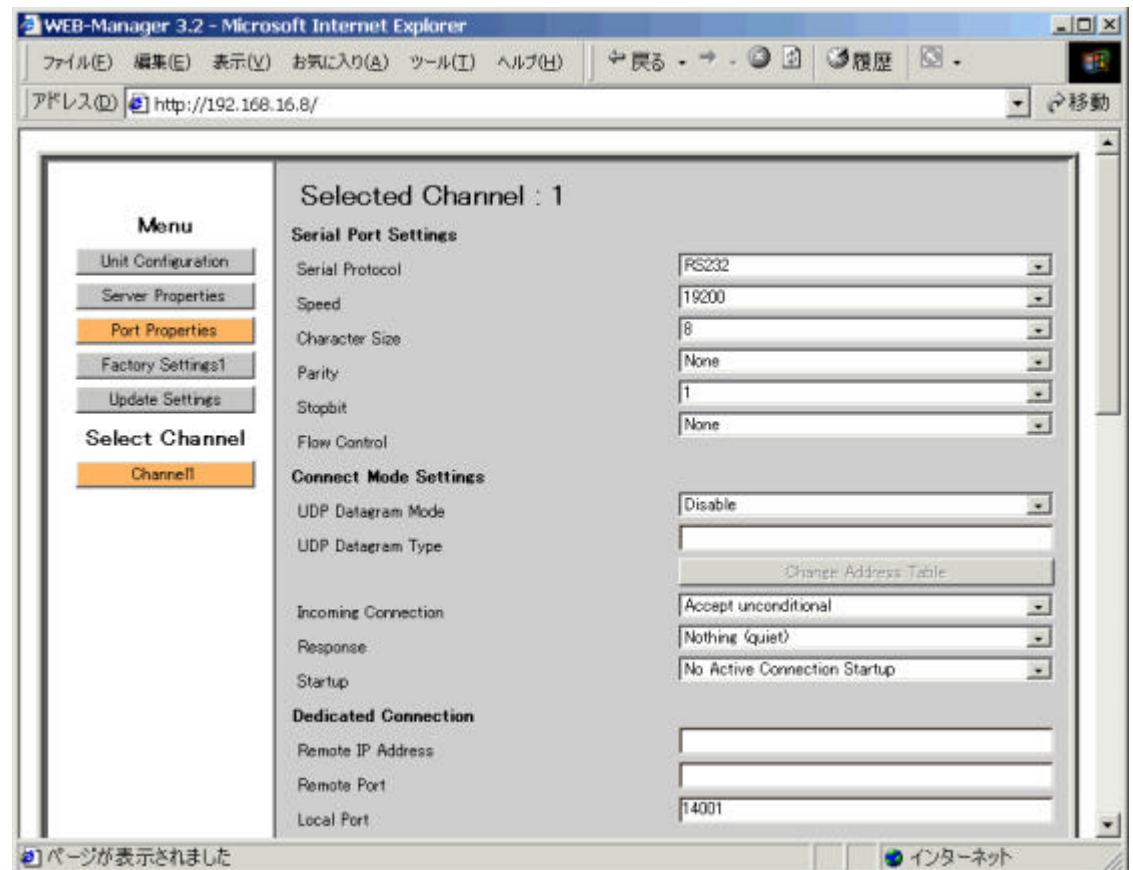
[- 3] ブラウザを使用しての自動 I P 変更

一旦、決定した I P アドレスを変更する場合、telNet 接続により行う他、ブラウザによる変更もできます。ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://xxx.xxx.xxx.xxx/」と現在のアドレスを入力すると WEB - M a n a g e r が起動します。左メニューから「Server Properties」を開いて新しい I P アドレスを設定します。



[- 4] ブラウザを使用してのポートの設定

ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://xxx.xxx.xxx.xxx/」と現在のアドレスを入力すると WEB - M a n a g e r が起動します。左メニューから「Port Properties」を開きます。



右側の「Dedicated Connection」欄の「Local Port」にポート番号を入力します。設定可能な数値の範囲は 1 4 0 0 0 ~ 1 4 0 0 9 です。

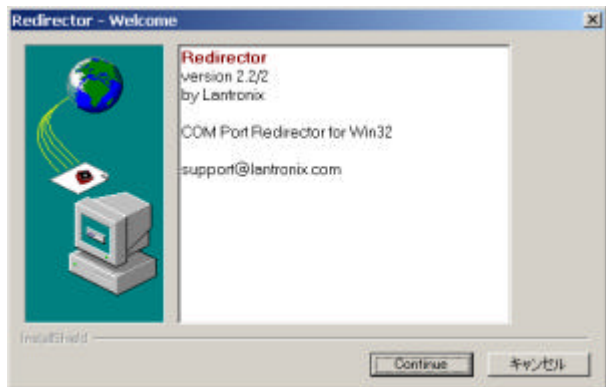
【 】 仮想COMポートの作成

[- 1] リダイレクタ「red32bit.exe」のインストール

red32bit.exe を起動すると
右のような導入画面が表示されます。

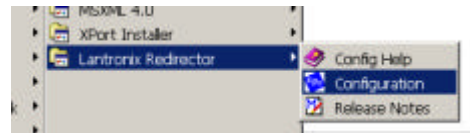
[Continue] をクリックして先へ進みます。

その後はメッセージに従い、インストールを
進行させます。



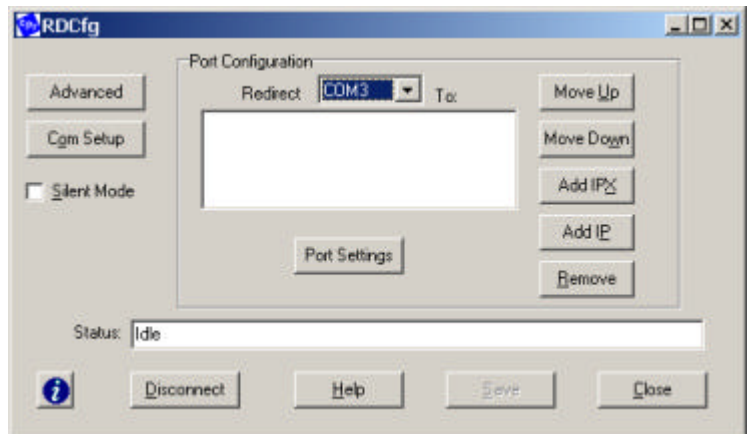
[- 2] 仮想COMポートの作成

[スタート] -> [プログラム] から
右に示す、 [Lantronix Redirector] の
 [Configuration] を起動させます。

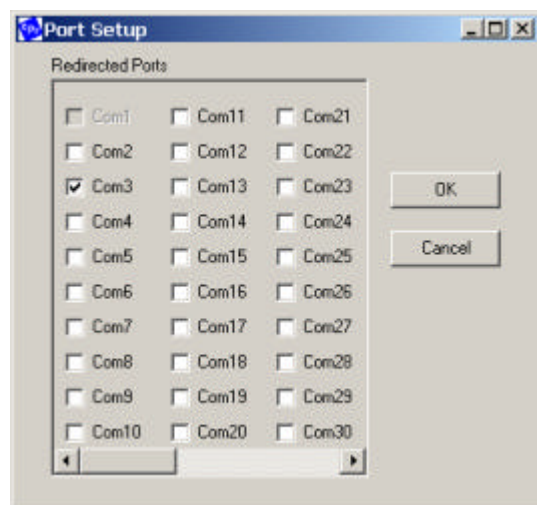


起動すると右のメイン画面が表示され
ます。

[Com Setup] ボタンをクリックし、
「Port Setup」画面を開きます。



仮想COMポートの番号を決めます。



メイン画面の [Add IP] ボタンをクリックし、右画面上で本機の IP アドレスとポート番号を入力します。

ここで入力するポート番号は先に「 [- 4] ブラウザを使用するのポートの設定」で設定した番号から 1 1 0 0 0 を引いた数値です。

例えば本機に設定したポート番号が 1 4 0 0 1 であればここでは 3 0 0 1 を入力します。

[OK] をクリックし、メイン画面に戻り、[Save] をクリックして終了します。

